



THE COMMISSION FOR THE SOLIDARITY WITH THE ASIAN UNDERPRIVILEGED  
 〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14階 Tel.03-3769-4177 Fax.03-3769-4178 E-mail: info@ngo-csa.jp HP: www.ngo-csa.jp

# の歩み アジア連帯委員会

アジア連帯委員会（CSA）の前身である「インドシナ難民共済委員会」は、1981年に、日本に定住するインドシナ難民の人権を守り、自立を助けることを目的に活動を始めた。その後、難民の帰還等、時代の変化に対応しつつ、1983年に「インドシナ難民連帯委員会」へ、その後事業の軸足をインドシナの復興支援に据えながら、1993年に「インドシナ難民およびアジアの恵まれない人々と連帯する会」へ、1996年には、将来の活動を展望し、アジアの開発途上国との連帯を意識して「アジア連帯委員会」と名称を変え、現在まで活動を展開している。

1975年（昭和50）



サイゴン陥落後、社会主義体制下で迫害を受ける恐れのある階層や新体制に強い不安を持つベトナム人がボートピープルとなって国外へ脱出した。



ラオスではラオス人民共和国の樹立後、当初は高地少数民族のモン族1万人が、続いて低地ラオ族がメコン川を越えてタイ国へ逃れた。

1981年（昭和56）

5月11日 アグネス・チャンの『アグネス・チャンの旗』を成功させよう!!  
 難民を救うチャリティショーを成功させよう!!  
 インドシナ難民共済委員会設立披露パーティー  
 昭和56年4月16日



4月16日、サンケイホールでアジア連帯委員会の前身、インドシナ難民共済委員会の発足総会開催。中央は武藤会長、左どなりはアグネスチャンさん。

1983年（昭和58）



名称をインドシナ難民共済委員会からインドシナ難民連帯委員会に変更。



名称変更に伴う新しいロゴマーク。

## 1984年(昭和59)



1月14日、設立3周年記念祝賀会で挨拶をする武藤会長。



宇佐美同盟会長は、「自由ほど尊いものはない、祖国が必ず自由で平和になることを信じます。同盟はCSIRの支援を続ける」と激励。

## 1985年(昭和60)



1月13日、第4回定期総会開催。



この年、日本語学校で学ぶ65人に奨学金を給付した。

## 1986年(昭和61)



設立5周年新春祝賀会。同盟と関係全産別組織、各地方同盟に対して武藤会長から感謝状を贈呈。



インドシナ難民連帯委員会として中古衣類の取り組みを開始。

## 1990年(平成2)



連合の第1回中央委員会で「愛のカンパ」から3,500万円の救援金を受領。山岸会長から目録を受け取る武藤会長。



難民キャンプ訪問を前にバンコクのUNHCR(国際連合難民高等弁務官事務所)を訪問し、支援について協議する矢田事務局長(右側)。

1991年(平成3)



新役員、左から金杉副会長、武藤会長、矢田事務局長、新井田常任理事。



連合第6回中央委員会で「愛のカンパ」からの救援金に対するお礼を述べる武藤会長。

1993年(平成5)



第12回定期総会で会長に選任された金杉秀信氏。



タイの孤児院にも衣類が届けられた。

1995年(平成7)



ゼンセン同盟衣料産業部会は毎年、中古衣類と輸送募金で多大な協力を。評議員会で目録を受け取る野付事務局長(左)。



5月24日、初めて建設した小学校の引き渡し式。挨拶をする金杉会長。



ラオスのサイタニ自治区クッサンバット村に贈った第1番目の小学校。

1996年(平成8)

# アジア連帯委員会



総会終了後、設立15周年記念パーティーを開く。協力へのお礼とさらなる支援の挨拶をする金杉会長。



ラオス民族舞踊。

1997年(平成9)



ビエンチャン自治区に建設した3番目校引き渡し式。右からマリー・フランス UNHCR 代表、坂井在ラオス日本大使、野付事務局長。



引き渡し式の代表、右から徳田連合局長、遠藤・鷹島両常任理事。

1998年(平成10)

# CSA 第17回定期総会

平成10年(1998年)5月24日 アジア連帯委員会



第17回定期総会開催。野付氏(右)から打田氏へ事務局長が交代。

# 連合第15回中央執行委員



「連合愛のカンパ金」からの寄付金贈呈式でお礼の挨拶をする金杉会長。

1999年(平成11)



ボリカムサイ県トナミ村に作られた6番目校。



新しい学校には、銘板が刻まれている。

2000年(平成12)



ルアンプラバンに建てられた8番目校の引き渡し式で、セントラル硝子労組の引地委員長と打田事務局長。



新しい校舎を背景に代表メンバー、UNHCR、ラオス政府関係者と子供たち。

2001年(平成13)



ラオス・ナラオ村に第11番目校が完成した。



創立20周年記念講演会で、坂井前在ラオス日本大使がラオスへの想いを語る。

2002年(平成14)



遠隔地高校生支援事業を開始。建設中のサントィパーブ高校寮の全景。



引き渡し式の金杉会長とルアンプラバン県教育局長。

2004年(平成16)



14番目校の引き渡し式に参加するため壊れかけた橋を渡る  
ラオス訪問団一行。



14番目校の引き渡し式で伊藤会長(左)と学校建設を担った全郵  
政東京地本の佐藤副委員長。

2009年(平成21)



第29回総会で宇佐美顧問からは「CSAの歴史を振り返って」  
特別報告を受ける。



19番目のターディンデンタイ村小学校引き渡し式。中央の大木  
会長がテープカット。

2010年(平成22)



第30回総会で渡邊新事務局長を選出。



連合が「愛のキャンパ・フォローアップ視察団」を派遣し、13番目校  
を訪れた。

2011年(平成23)



JP 労組東京代表団が CSA 小学校を視察。



ナマイ村に建設された 22 番目校を引き渡し。テープカットする吉井副会長。



連合第 12 回定期大会で、大木会長が古賀連合会長から助成金を受ける。



カネボウ労組の寄贈による 23 番目校がパチャオ村に落成。引き渡し式で握手する瀬村委員長(右側)。

2014年(平成26)



基幹労連が寄贈したファサン村小学校(24 番目校)。



2014 年ワーキング・スタディ・ツアーでタイ衣類倉庫訪問。



ラオスでお世話になってきた佐古商店の佐古さんと吉井会長。

2015年(平成27)



2015年ワーキング・スタディ・ツアーでラオス衣類倉庫訪問。



サンティバープ高校生寮の契約更新式に出席した山岡事務局長(左側)。

2016年(平成28)



2016年ワーキング・スタディ・ツアーでタイ衣類引き渡し式に出席(ウドンタニ)。



在日本ラオス協会のラオス正月を祝う集い。

2017年(平成29)



2017年ワーキング・スタディ・ツアーでタイ衣類引き渡し式に出席(バンコク)。



セントラル硝子労組ラオス視察団がホアナ村小学校(8番目校)を視察。